

***名岐道路・スマートインターチェンジ推進事業などの問題点！**

- ① 名岐道路整備促進事業・・・一宮市、岐阜市、各務原市、岐南町、笠松町が、早期実現に向け国や県へ要望活動。
- ② スマートインターチェンジ設置検討事業・・・一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジ及び周辺施設の検討・測量・設計費用。
- ③ 区画整理促進調査事業・・・三ツ井重吉地区の地権者に対し、区画整理事業に対する理解を深め事業化を促進するため、説明会、意識調査、民間活力の導入可能性調査等を行うもの。

名岐道路やスマートインターチェンジを見越して市内各地で物流倉庫建設が続いています。交通量の増加や交通渋滞、水田がなくなり水害の拡大、交通量増加による環境への影響など、企業にメリットがあっても市民にメリットがあるのでしょうか。

日本共産党市議団は、環境に優しい SDGS へ、物流は鉄道輸送の強化、市民の移動は公共交通の充実、農地を確保、食料自給率向上などで家族農業を支えること、水害などの災害に強い街づくりを求めます。



- 議案第 21 号 一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 議案第 23 号 特別職員の給与に関する条例の一部改正について

***市長など特別職の給料や市会議員の報酬は据え置きを！**

一宮市特別職報酬委員会の答申に基づき、市議会議員の議員報酬月額を引き上げ・市長など特別職員の給料月額を引き上げの議案と予算(一般会計)です。一宮市は市民所得が低い状況です。そして物価高騰による家計への負担が続いています。市民の暮らしが大変な中で据え置きを求めます。

- 議案第 11 号 令和5年度一般会計補正予算

***4億円の積立金で、水道料金・下水道使用料の値上げ中止を！**

財政調整基金積立金に4億円の予算があります。水道・下水道の耐震化事業は、企業会計だけで考えることなく、財政調整基金を使い、水道料金・下水道使用料の値上げの中止を求めます。物価高騰による負担増が続く、年金額も減り続けています。不安定で低収入の非正規労働者は増え続けています。中小零細業者は2023年10月からのインボイス制度の実施で、さらに暮らしと営業は厳しくなっています。何よりも市民の暮らしを守ることは政治の務めと考えます。



裏面に続く→

2024年度 予算・議案 暮らしと福祉の増進に反するものに反対討論！

3/21 閉会日
3月議会
彦坂和子

多くの予算・議案に反対ではありません。一宮市民の暮らしに影響し、住民福祉の増進に反するものに、反対討論を行いました。

- 議案第 1 号 令和6年度一般会計予算
- 議案第 26 号 一宮市手数料条例の一部改正について

***自治体情報システムの標準化事業の問題は！**

デジタル関連法の「地方公共団体情報システム標準化法」は、全国の自治体に国の基準に適合したシステムの利用を義務付け、2025年度末までに実施。

- ① 膨大な個人情報に委託企業に渡り、個人情報を守られるか？
- ② 住民サービスの後退、自治体独自の施策の後退ではないか？
- ③ 高額の予算を使う！



***マイナンバーカード交付等事務事業、証明書コンビニ交付事業の問題は！**

マイナカード保有者を優遇し、カードを持たない人の住民票発行手数料が保有者の3倍で不公平なものです。政府が今年秋に保険証廃止を強行に進め、任意のマイナカードが強制になっていることも大きな問題です。

***100歳のお祝い金額の引き下げは据え置きを！**

100歳のお祝い金額を2万円(商品券)から1万五千円に引き下げです。これまで社会・経済を支えてきた方の、100歳の長寿を祝う金額の引き下げは残念です。据え置きを求めます。



***婚活支援事業の問題は！**

「結婚を希望しながらも出会いの機会に恵まれない未婚者に、出会いの場やきっかけづくりの機会を創出するため、地域資源を活用した事業を実施」へ160万円。2013年から少子化対策の一環として、国を挙げての官製婚活が進められ、単年度の成果へ圧力となることを危惧します。

- 議案第 9号 水道事業会計予算
- 議案第 10号 下水道事業会計予算

上下水道料値上げ NO !

●モデルケース（1世帯2~3人）の場合
 水道料金（2カ月）**587円アップ**
 下水道料金（2カ月）**922円アップ**
計1,509円値上げ



物価高騰で
くらしが
大変なのに

- 議案第 2号 国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第 3号 令和6年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計
- 議案第 4号 令和6年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計予算
- 議案第 13号 令和5年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算
- 議案第 31号 一宮市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第 32号 一宮市介護保険条例の一部改正について



軒並み値上げで
市民の負担が
大きく増加！

国民健康保険税 の値上げ額（年）

所得割	0.55%
1人	9,600円
1世帯	7,200円

後期高齢者医療 保険料の値上げ額（年）

所得割	1.56%
1人	4,400円
賦課限度額	80万円

介護保険料の値上げ額（年）

基準額	6,000円
所得区分	14→17段階

*水道料金・下水道使用料は値上げを中止し、市民負担軽減を！

水道料金、下水道使用料の改定が2024年10月1日施行されます。増額予算は水道料金は2億4,000万円、下水道の使用料は一般区域では1億9,000万円、特定区域では4,000万円、計4億7千万円を加算して計上。

水道料金は基本料金の7%、1㎡あたり15円の値上げ、下水道使用料は基本料金25%、1㎡あたり18円の値上げです。水道料金の値上げは、すべての世帯への負担増となり、さらに下水道使用料の値上げとダブルパンチです。

「みずでっぼう」（2024/2月）の「水道料金・下水道使用料を改定」に、改定料金の口径別、使用水量別の一覧表がありますが計算方法は不明です。

市民に値上げの根拠や市民の質問に直接の説明はありません。市長に市民への十分な説明と、水道料金・下水道使用料の値上げの中止、市民負担軽減の検討を求めました。

- *国民健康保険は、社会保険の対象者の拡充で被保険者が減少し、低所得者・無職の人の割合が増加。国の負担割合が下げられ、被保険者の負担が増加しています。
- *後期高齢者医療保険は、医療の必要な人の割合が多く、収入が減少する75歳以上を国民健康保険や社会保険などから切り離しました。
- *介護保険は、当初の月額3000円を切っていた保険料が、2倍以上の6,317円に値上がりです。低所得世帯の保険料率を引き下げ、多段階化で応能負担を強めた点は評価。独自減免の廃止や基準額の引き上げにより、多くの市民の負担が増えます。

全国知事会が国に国民健康保険への1兆円の公費投入を要求しています。賃金が上がらない、年金も上がらない中、物価高騰によって家計は悲鳴を上げています。国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険すべてに、被保険者の負担を減らせるよう、市として県・国の負担の増加を求めるべきです。

*全国の自治体で水道管の老朽化が進む！

水道管
耐震化が必要

人口減少・水道収入減
費用が重荷

国が耐震化予算
アップを！



★一宮市も水道管の地震対策を進める必要があり、市は水道基幹管路耐震管率31.3%（2022年度末）を40.7%（2032年度末）目標に耐震化を進める計画です。

専門家は「水道管の老朽化が全国で進む一方で、中小の自治体は人口減少で水道収入も減り、耐震化の費用が重荷になっている。政府が積極的に関わっていく必要があるのでは。」と指摘。（シャトル 896）市民に負担増ではなく、国にねばり強く上下水道事業の耐震化予算増を求めることが必要です。



*学校給食補助は1学期のみ実施に！ 2学期以降も補助を！

請願署名は
みなし不採択

学校給食費保護者負担軽減補助事業3,486.6万円。物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の支援に、令和6年度1学期に保護者負担を軽減するものです。

昨年12月議会に提出の請願書「4月からの値上げ分を補助してほしい」（一宮の学校給食を考える会・署名1578筆）は、3/13経済教育委員会で「みなし不採択」に。日本共産党一宮市議団は、2学期以降も物価高騰分の補助を求めていきます。

